

## 平成24年度第2回 歩行者移動支援有識者委員会の概要

### 1. 開催日時等

日時： 平成25年3月6日（水） 10:00～12:00

場所： 経済産業省別館 1031号会議室

出席者： 委員長 岡部 篤行 青山学院大学総合文化政策学部 教授  
委員 河端 瑞貴 慶應義塾大学経済学部 准教授  
委員 竹中 ナミ 社会福祉法人プロップ・ステーション 理事長  
委員 寺部 慎太郎 東京理科大学理工学部 准教授  
委員 古屋 秀樹 東洋大学国際地域学部 教授

事務局： 国土交通省政策統括官付

### 2. 委員からの主な意見

#### 【事業全体に対する意見】

- 歩行空間ネットワークデータの整備について、全国一律のネットワーク整備という考え方ではなく、積雪時や降雨時の対応など、その地域ならではのオプションとして、きめ細かな情報の出し方を考えても良いと思う。
- いろいろな地域におけるいろいろな気候条件のもとでの取組みにより、実際の観光地の盛り上がりにつながれば良いと思う。観光地に行こうと思った人は、事前にその観光地の情報をチェックすると思うので、事前の情報と現地でのスマートフォンなどから得られる情報との両方の活用ができれば良いと思う
- 情報を受ける器械（スマートフォン等）も発達してきて、感覚で使えるようになってきており、数年内には相当高齢の方でもスマートフォンを活用して情報を得られるようになると思う。この取組みがそれぞれのやり方で、進んでいくことに期待する。
- 外国人や障がい者、さらに時間や季節などの細かい場面に踏み込んで、どのような対応が可能かなど、積極的な取組みを行っていただいた。この取組みは、健常者にとっても有益である。車いすの方の意見や健常者のニーズ等、その場その場に適したものを作りこんでいくのが次のステージと思う。

## 【各地区での取組みに対する意見等】

協議会の名称	委員からの主な意見等
カムイ大雪バリアフリー 推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積雪期において歩行空間ネットワークデータの整備に取り組んだ事例は、全国一律のネットワーク整備ではなく、その地域ならではのオプションを設ける観点からも評価できる</li> </ul>
いわきユビキタス社会化 推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急避難ナビの電池消耗についての心配はどうか (協議会回答) 現状では消耗が激しいが、データ受信の仕組みの変更などにより改善できる可能性あり</li> </ul>
渋川地区観光特別宣伝 協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の方から施設情報が役立ったという意見があるが、工夫した点はあるか (協議会回答) 宿泊施設や観光施設が集まっている石段街を中心としたサービスとなるように工夫した。アプリに掲載する施設を増やし、ビジネスモデル化して運営できるようにしたい</li> </ul>
伊勢・旅バリフォン 開発協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の仕方や技術的なことだけでは解決できないことへの対処など、工夫して事業に取り組まれている</li> </ul>
明日香 まるごと博物館づくり 推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの対象域外と域内を結ぶ経路案内は、どのような仕組みか (協議会回答) 域外はグーグルの検索エンジンを用い、サービス対象域内との接点で今回のシステムとつなぎ、ひとつのルートとして経路表示している</li> </ul>

以 上